

### 民生児童委員による 寝たきりの方・その介護者への友愛訪問 (28年1/12)

現在校区には24名の方が寝たきりで、家族の方の介護を受けて療養していらっしゃいます。那加三地区では、毎年この時期に、担当地区の民生委員・児童委員さんに洗剤・お菓子・ティッシュペーパーなどを持ってきて慰問していただいています。



### 平成27年度 事業活動実績

月	事業活動内容
4	8日(水) 常任理事会 (新役員・事業計画・収支予算案の検討) 14日(火) 理事会(新役員・事業活動計画・収支予算案等) 24日(金) 総会 平成27年度地区活動について 支部役員・事業計画・収支予算案の承認
5	※日赤募金の推進 7日(木) 常任理事会 15日(金) 第1回 近隣ケア・グループ代表者懇談会(参加者35名)
6	1日(月) No.56号 地区だより発行 2日(火) 常任理事会 16日(火) 第1回 近隣ケア・グループ研修会(参加者107名)
7	7日(火) 常任理事会 中旬 那加三小児童による暑中見舞いハガキの発送 (独居者111名) 28日(火) 常任理事会
8	※社協会員・会費募集の推進 ※親子ふれあい盆踊りの夕べ ・福祉の店出店(八幡神社境内)
9	1日(火) 常任理事会 6日(日) ※各務原市福祉フェスティバル2015開催(市民会館) 15日(火) 常任理事会 No.57号 地区だより発行
10	6日(火) 常任理事会 12日(月) ※第16回那加三市民ふれあいフェスティバルに おけるバザー開催(体育館) 23日(金) 中学生と福祉を学ぶ会(那加中2年生4クラス)
11	1日(日) お年寄りを囲む食卓会(参加者227名) 3日(火) 常任理事会 13日(金) 第2回近隣ケア・グループ研修会(参加者106名) 17日(火) ※第49回 各務原市社会福祉大会(市民会館) ※那加三小へ年賀状発送依頼(119名)
12	1日(火) 常任理事会 13日(日) 歳末福祉懇談会(歳末たすけあい特別事業) 対象者:65歳以上独居者・70歳以上夫婦のみ 世帯・在宅介護者(参加者89名)
1	12日(火) 常任理事会 12日(火) 寝たきりの方・その介護者への友愛訪問(24名) (民生委員)
2	2日(火) 常任理事会
3	8日(火) 常任理事会 8日(火) 理事会 15日(火) No.58号 地区だより発行 28日(金) 常任理事会

※印は地区以外の団体主催行事

### 平成27年度 収支報告書 ※金額単位:円

収入の部 《平成28年1月31日現在》

科目	本年度予算	収入金額	備考
1 交付金	440,000	422,000	社協会員費集積金1,054,500円の40%還元
2 メニュー事業助成金	1,081,000	905,677	
①近隣ケアグループ研修会	60,000	60,000	助成金1回開催3万円×2回開催6月、11月
②ボランティアハウス事業	432,000	432,000	南栄町・新加加・日之出・太平・太平2・西野1・三井北町
③福祉懇談会	16,000	5,832	助成金4/28 22名 5/15 35名 お茶代
④地域の困りごと調査アンケート	3,000	2,950	助成金6/16 研修会にて調査 50円×59名
⑤機関誌発行・地区だより	270,000	107,568	1部30円×3,000部×3回(66.57.58号)うち2回
⑥高齢者ふれあい交流事業	150,000	150,000	助成金 高齢者、食卓会、参加者227名
⑦地区社協PR事業	50,000	49,230	助成金 社協名刺入りシャープン地区社協PRセット
⑧歳末たすけあい特別事業	100,000	98,097	歳末福祉懇談会55,543円、友愛訪問42,554円
3 その他の収入	73,000	77,001	バザー入金48,816円、地区活動費30,000円、賛助金18,185円
前年度繰越金	1,199,176	1,199,176	前年度繰越金
収入合計	2,793,176	2,603,854	

支出の部

科目	本年度予算	支出金額	備考
1 交付金・共通実施事業	250,000	121,463	
①事務費	30,000	25,043	事務費、コピー、写真代、監査費、その他等
②支部育成事業	180,000	53,540	理事会、総会、委員会、地区研修会、記念品、謝礼
③福祉教育事業	40,000	42,880	那加三小 暑中見舞い、年賀状、中卒福祉バザー募集、施設訪問
2 メニュー事業助成金	1,283,000	1,033,482	
①近隣ケアグループ研修会	60,000	51,520	近隣ケアグループの研修会 2開催 6/16,11/13
②ボランティアハウス事業	432,000	432,000	南栄町・新加加・日之出・太平1・太平2・西野1・三井北町
③福祉懇談会	16,000	5,832	4/28ボランティアハウス 5/14近隣ケア代表者懇談会
④地域の困りごと調査アンケート	0	0	6月近隣グループ研修会で調査実施
⑤機関誌発行・地区だより	270,000	107,568	56号(5/25)、57号(9/9)、1部66円×3,000部×2回印刷
⑥高齢者ふれあい交流事業	355,000	289,235	食卓会、弁当代、食材費、果物、お菓子、出席者227名
⑦地区社協PR事業	50,000	49,230	地区社協のほり顔セット、シャープン350本購入
⑧歳末たすけあい特別事業	100,000	98,097	「共同募金分配事業」
⑧-①歳末福祉懇談会	55,000	55,543	歳末福祉懇談会、土産代、飲み物代等
⑧-②友愛訪問事業	45,000	42,554	年末助け合い寝たきり老人見舞い、介護者贈り物
3 その他の収入	70,000	11,944	
①啓発事業	45,000	1,944	盆踊り福祉の店、出店経費 お茶代
②渉外費	15,000	0	慶弔費
③助成金	10,000	10,000	那加西市民児協への助成
支出合計	1,603,000	1,166,889	予備費内訳 定期777,618円
予備費	1,190,176	1,436,965	普通636,152円
合計	2,793,176	2,603,854	現金 23,195円

編集後記 ことしも校区のみなさんのご協力・ご参加により、諸行事を無事終えることができました。ありがとうございました。安全・安心して暮らせるまちづくりをモットーに次年度もよろしく願いいたします。

# 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

平成28年3月15日 No.58

編集・発行

那加三地区  
社会福祉協議会

## お年寄りを囲む食卓会(11/1) 出席者227名 20回記念に那加中体育館で開催

「お年寄りを囲む食卓会」は会を重ねて、今年度で20回目となりました。そこで、今年度は那加中学校の体育館をお借りして開催しました。段差のない会場入口なので、車椅子で参加される人もありました。暖かい晩秋の一日を会食とアトラクションで楽しんでいただきました。

### ＜アトラクション＞

- ◇舞踊・安来節・マジック(安来節保存会とどじょうサークルのみなさん)  
・夫婦坂、哀調青葉の笛・安来節・どじょうすくいなど
- ◇吹奏楽(那加中学校吹奏楽部のみなさん)  
・センチュリア・ジャパニーズグラフィティ(ドリフターズ)  
・演歌メドレー(北国の春～川の流れるように)など

どじょうすくい踊りでは、会場からの飛び入り参加者もあり、大いに盛り上がりました。吹奏楽は、力強いボリュームたっぷりの大熱演でした。お年寄世代になじみの深いドリフターズメドレーや演歌メドレーの演奏は大喝采を博しました。



## 活況・チャリティーバザー 第16回那加三市民ふれあいフェスティバル(10/12)



雨天で順延となり、快晴となった翌日、10月12日に那加三市民フェスティバルが開催されました。那加三地区社協は、例年どおりチャリティーバザーを担当しました。市民のみなさんご協力をいただき、今年も大勢の来場者でにぎわいました。売上金は下記のように分配させていただきました。

チャリティーバザー売上金 126,816円

配分内訳	金額
自治会連合会	20,000円
青少年育成市民会議	20,000円
那加第三小学校	20,000円
那加中学校	20,000円
那加三地区社協	20,000円
災害緊急対策積立金	26,816円



## 第2回 近隣ケアグループ研修会 (11/13) 出席者106名

「講演会」と「公演会」で研修



<講演会>

演題 「見守りで防ごう高齢者の消費者トラブル」  
講師 青木 文子先生(司法書士)



高齢者が巻き込まれる消費者トラブルは急増しています。各務原市の近隣ケアグループ制度は、それを防ぐ素晴らしい制度です。それは、近隣の見守りによってトラブルの芽を摘むことができるからです。

- 見知らぬ業者や営業マンが頻繁に出入りしている。
- 見たことのない車(他県ナンバー)が家の前に止まっている。

など、いつもと変わった光景を察知して声かけをすることによって、被害を未然に防ぐことができます。また、被害の発見が早ければ、クーリング・オフできる場合もあります。

### クーリング・オフとは

訪問販売や電話勧誘で契約してしまったけれど、解約したい。そんなときはクーリング・オフの手続きをしましょう。一定期間消費者に契約を考え直す時間を与え、無条件で契約を解除することを認める制度です。



<公演会>

演題 「ねらわれる高齢者」  
演者 寸劇グループ「つくしんぼ」のみなさん



「つくしんぼ」のみなさんは、高齢者をねらう悪質な詐欺の手口(※催眠商法・点検商法)を寸劇の形でわかりやすく教えてくださいました。各務原市内でも、大きな被害が出ています。地域のみんで高齢者を見守り、お互いが安心して住める街造りをしたいものです。

### 平成27年 特殊詐欺認知状況(平成27年1月~4月)

各務原市	振り込み詐欺		被害額	振り込み詐欺		被害額
	認知件数	被害額		認知件数	被害額	
オレオレ	0	0	オレオレ	12	20,600,000	
架空請求	3	33,385,000	架空請求	42	100,653,340	
融資保証	0	0	融資保証	6	8,250,510	
還付金	1	998,525	還付金	20	18,147,149	
合計	4	34,383,525	合計	80	147,650,999	

### ●クーリング・オフのポイント

- ① 契約書を受け取った日から、その日を含めて8日以内(内職・モニター商法、マルチ商法は20日以内)に必ず書面で通知します。
- ② 書面(はがきなど)はコピーして控えをとり、特定記録郵便または簡易書留で送ります。
- ③ 代金支払いをクレジットとした場合は、クレジット会社へも通知します。その場合は、販売業者名を必ず記載します。

### 福祉ポスター表彰 那加中学校

「福祉ポスターコンクール」入賞者の表彰が「お年寄を囲む食事会」会場で行われました。

- 最優秀賞 森崎 祐太
- 優秀賞 吉田 優里 豊永 春菜
- 優良賞 伊藤 綾音 今尾 根寧 浅野 江莉香

このほか、審査員賞、入選作品にも7名のみなさんが表彰されました。



### おひとり暮らしの方への年賀状 那加第三小学校

5、6年生のみなさんが、今年もおひとり暮らしの高齢者119名に年賀状を書いてくれました。夏の暑中見舞いハガキに続くやさしい心の贈り物となりました。



## 中学生と福祉を学ぶ会 (10/23) ~校区の施設へ出かけて学習~

那加三小学校出身の那加中2年生の皆さんが校区の福祉施設を訪問し、地域福祉の現状を学習しました。施設の方から説明を聞いた後、高齢者の方々とゲームを楽しんだり、合唱を披露したりして、楽しいひとときを過ごしました。後日、心のコモったお礼のメッセージが各施設に届きました。



ジョイフル新那加

みなさんといういろいろなお話ができて、とても楽しい時間でした。みなさんすごく元気で笑顔で私が元気をもらったくらいです。いろいろ大変なことがあると思いますが頑張ってください。短い時間でしたが、ありがとうございました。2年6組 田中 美優



特養 オーク

私はオークに行って、スタッフの方がとても高齢者の方を思いやっていると、そして高齢者の方は笑顔で楽しそうに過ごしていたけど、それはスタッフの方の努力があるからだと思いました。私も高齢者の方を思いやって過ごしたいです。2年2組 竹中 実由妃



グループホーム愛の家

福祉体験をして、老人ホームにはお年寄りの方が暮らしやすいようにベッドも特別だったりしてすごいですと思いました。30年後には2人に1人が介護する時代になることにびっくりしました。2年4組 可児 信一郎



特養 美谷苑

福祉体験では、「相手のことを考えて行動する。」ことの大切さを学びました。また、お年寄りの方に対する接し方もよく分かったので、今後の生活に生かしていきたいです。ありがとうございました。2年3組 今尾 根寧

## 歳末福祉懇談会 (12/13) 出席者89名

今回は「マイナンバー制度」と「介護保健制度の改正」について説明を聞きました。マイナンバーについては平成28年1月から市役所の様々な手続きにおいて記載が必要となりますので、市の広報紙やチラシをよく見てください。また、わからないことがあれば市民課へお問い合わせください。

介護保険制度の改正については改正項目の9項目のうち、「特別養護老人ホームの入居基準」「一定以上の所得がある人の利用負担が2割となること」「低所得施設利用者の食事・居住費の細く給付要件の変更」「要支援1・2の人の利用サービスの一部変更」等の4項目について説明を聞きました。介護保険の基準が変更になり、わからないことがあれば、地域包括支援センターへお問い合わせください。引き続き二会場に別れて分科会を開催しました。



### 高齢者部会・介護者部会

助言者 川瀬主査 杉山主査

- 町内の順番で近隣ケアが回ってくる。高齢で妻の病氣もありできるかどうか心配である。
  - ・近隣ケアの研修会や勉強会もあり、見守り・声かけ活動を中心に、やれる範囲で気楽にやってもらえればよい。
  - ・シニアクラブの会員の入会率を上げると、仲間の悩みを聞けるし、近隣ケアさん負担も少なくなると思う。
  - ・災害時や緊急時の連絡先は自治会長さんや民生委員さんに聞けばわかる。個人情報なので全ての高齢者の連絡先をつかむのは難しい。
- 那加三地区にも空き家を利用した「福祉の家」をつくってほしい。
  - ・もし空き家があり、管理ができ地域の力で作れば可能である。市からも助成金(100万円/年で3年間)が得ます。

### おひとり暮らし部会

助言者 野村主査

- 病院に入院すると、3カ月で転院させられることに不安を感じる。
  - ・診療報酬が3カ月で引き下げられることから、そうした事態が起きている。病院のソーシャルワーカーが転院先を紹介してくれる。
- 高齢になり、判断能力の低下を自覚するが、車の運転に不安を感じつつ、免許証の返納に踏み切れない。
  - ・日頃から近隣の人と親しい関係を築いておけば相談したり助言してもらえたりできる。孤立しないように努力したい。
- 夜中に便秘等々の症状が起きることが不安である。
  - ・市の緊急通報システムが利用できるので、民生委員を通して申し込むとよい。民間の見守りシステムサービスもある。